

刑法 出題の意図

問題 1 は、刑法各論に関する重要な概念のごく基礎的な理解を問うものである。事例を設定させるのは、適切な事例設定は正しい知識の裏打ちを測るために有用だからである。

(1) は、住居侵入罪の基本性質たる保護法益に関する基本的な理解を問うものである。通説である住居権説と反対説である平穩説の対立構造を軸に、保護法益の適切な理解が示されていることが必要である。(2) は、背任罪の主観的成立要件である凶利加害目的に関する基本的な理解を問うものである。この意義ならびにこれが必要である理由が適切に記述されていることが必要である。

問題 2 は、刑法総論上の典型論点である因果関係、特に第三者の行為が介在した際にどのようにして因果関係を認定するかを問う事例問題である。最初の暴行により死因となる傷害が形成され、後の暴行が死期を若干早めたという事例において、因果関係に関しどのような規範を立て、矛盾なく解答が導かれているかを問うている。